

A.S.C 18th



International Student Association

2013/08/19~2013/08/24

In Korea Gwanju * *

目次

団長挨拶	3
Ex.概要	3
開催の目的.....	3
協力団体・協力者.....	3
開催地	3
参加者名簿.....	4
スケジュール	5
事前勉強会報告	6
日別活動報告	7
テーマエッセイ	16
フリーエッセイ	17
必要な持ち物リスト	29
編集後記	30
発行元	30
発刊日	30
編集者	30

団長挨拶

今回の 18th A.S.C.は、日本人メンバー22 人で参加してきました。

優しくておもしろい韓国人メンバー達。

毎晩のうるさい飲み会。

あってないようなスケジュール。

アットホームな雰囲気でのんびりしたペンションでの毎日。

近くて遠い国と言われる韓国ですが、この6日間で、確実に韓国という国は自分にとって近い国になったと思います。

また帰って来たい場所。

そう思えるのも、大切に忘れられない思い出を作ってくれた ASC メンバー達のおかげです。
感謝の気持ちと愛おしい気持ちでいっぱいです。

本当にありがとう！

また会える日を心待ちにしています。

18th A.S.C.団長 大本真弓

Ex.概要

開催の目的

ディスカッション、グループ活動、観光などを通して韓国の学生と交流を深めること。

協力団体・協力者

韓国 I.S.A. (カンジュ支部、ソウル支部、テグ支部)

開催地

カンジュ (スンチョン)

参加者名簿

役職	名前	支部	学年	大学
団長	大本真弓	岡山	3	ノートルダム清心女子大学
副団長	村上昂平	神戸	3	関西学院大学
	浅野雅菜	神戸	2	関西学院大学
国際渉外	村井太一	岡山	1	岡山大学
ML 係	中島歩美	神戸	2	関西学院大学
財務	廣瀬仁美	神戸	2	関西学院大学
チケット係	長田博子	大阪	3	関西大学
	鈴木貴大	神戸	2	関西学院大学
	森田美穂	大阪	1	関西大学
報告書係	新宮真梨	京都	2	京都女子大学
	谷井郁花	九州	1	北九州市立大学
勉強会係	新田裕美	神戸	3	神戸女学院大学
	坂口卓	東京	1	立教大学
文化紹介係	片山茜	大阪	2	関西大学
	城見幸	大阪	1	関西大学
	高尾周代	大阪	1	関西大学
	金井みづき	大阪	1	関西大学
スイーツパーティー係	降旗玲佳	東京	3	日本大学
	廣田あき帆	神戸	1	関西学院大学
	津田宜範	九州	1	北九州市立大学
広報係	西島本いぶき	神戸	2	神戸大学
	横山慧	大阪	1	関西大学

スケジュール

8/19

カンジュからスンチョンへ移動
グループミーティング
サムギョブサルパーティー
飲み会



8/20

ペンション近くの韓国料理店でランチ
夕方までグループミーティング、ダンス
スンチョンガーデンエキスポ
チキンパーティー
ナイトミッション
飲み会



8/21

カンジュの海で泳ぐ
ランチは韓国の伝統料理
カレー作り
飲み会



8/22

文化紹介（ヨーヨーつり）
グループごとにスンチョンシティを散策
（ショッピング、カラオケ、ファミリーレストラン、カフェなど）
スーパーマーケットで料理の材料を購入
飲み会



8/23

ペンション近くの蟹料理店でランチ
スイーツパーティー
文化交流（日本料理と韓国料理作り）
サムギョブサルパーティー
寄せ書き、写真タイム
飲み会



8/24

起床
バスでカンジュへ移動
記念撮影



事前勉強会報告

勉強会は8月18日（日）プサンの東新ホテルで行われました。人数の関係で3グループに分かれてテーマごとに発表し、各自割り当てられた項目を滞りなく調べてきていたのでスムーズに進行しました。中には、自分で作成した資料を持参して来てくれた方もいて、とても有意義な会となりました。また私たちの班では A.S.C.当日に備え自己紹介を英語で行い、明日からプログラムが始まるという緊張感と喜びを高められました。曖昧な部分や疑問も積極的に質問しあうことで活発な議論ができ、良い勉強会になっていたと思います。

日別活動報告

8月19日

岡山支部 ノートルダム清心女子大学 3年

大本真弓

釜山で勉強会を行って一泊していた私たちを、ミョンチョルとダヒョンが迎えに来て、みんな一緒にバスで朝鮮大学校へ向かいました。バスの中では爆睡している人が多かったです。途中立ち寄ったサービスエリアでうどんを食べましたが、味が薄く、やはり日本のうどんがおいしいわと実感しました。

3時間程で到着した朝鮮大学校はとても広くて、綺麗な大学でした。大学内を車が通るほど広く、教室移動が大変だろうなあと思いました。

朝鮮大学校の教室に入って、韓国人メンバーはどんな子なんだろうかとドキドキしながら座ってオリエンテーションが始まるのを待ちました。オリエンテーションが始まり、自己紹介をしてもらって、びっくり！1回生の多さ！しかし、みんないい子そうで、これから始まるA.S.C.に心を躍らせました。

オリエンテーションが終わった後はバスに乗ってペンションに向かいました。バスの中で早速韓国人メンバーに話しかけ、楽しく話していたらあっという間にペンションに到着。想像以上に綺麗なペンションに、みんなテンションが上がりました！

夜はサムギョブサルパーティーからの飲み会。おいしかったし、メンバー達と楽しく交流できました！これからのA.S.C.がより一層楽しみになった夜でした♪

8月19日

東京支部 日本大学 3年

降旗玲佳

飛行機に乗り遅れたため勉強会には参加できなかったです。申し訳ないです(;>(<) 空港に着いてから地下鉄に乗って南浦駅まで行きました。韓国の地下鉄は切符が日本とは違う形でコインのようなものがありました。タッチ式でもあったのですが最後改札から出る時は日本の切符の世にコインを入れなくてはならなくて戸惑いました。何回か乗り換えをして駅に到着して、ホテルに向かおうとして曲がる道がわからず進みすぎてしまったため原宿通りみたいなところに出てしまいました。道にはゴミ袋がたくさん置いてあったので臭いがすごかったです(*_*) 遅い時間でも営業しているお店が結構ありました！道に迷ったため交番に行き警察の人にタクシーを呼んでもらいなんとかホテルにたどり着けました(*_*) 言葉が通じることがどれだけ便利かわかりました！

8月20日

岡山支部 岡山大学 1年
村井太一

前日は夜遅くまで起きていて、眠たい目をこすりながらの二日目。この日の一番のイベントは、'Go to Sun-cheon Garden Expo' です。予定どおり進めば昼間から夕方にかけてガーデンエキスポに行く予定でしたが、A.S.C.期間中は猛暑日が続いており、韓国人リーダー(以下、ナムヒョ ヒョン)の配慮により比較的涼しい夕方前から向かうことになりました。ガーデンエキスポは世界各国の伝統的な庭園を寄せ集めたテーマパークで、正直、あまり期待していなかったのですが思ったより楽しむことができました。三つに分けられたグループ毎にパーク内をまわり写真をとにかく撮りまくりました。



夕方といえど、気温も湿度も高く長時間歩いて最後はハトハトになっていましたが、ここでまた、ナムヒョ ヒョンの粋な計らいによりみんなにアイスクリームor シェイクの支給。この日だけは、みんなナムヒョ ヒョンに感謝したに違いない。(笑)ハトハトになりながら帰宅しみんなで、その日のディナーであるフライドチキンを食いました。疲れていたのも、僕は早めに寝ましたが二日目もナイトフィーバーだったとか…。次の日の予定がツレたのには驚きもしません。(笑)



8月20日

東京支部 立教大学 1年
坂口卓

2日目は1日目のアルコールゲームのえいきょうなども影響などもあり、スケジュールよりも遅れてみんなが起床し1日が始まった。近くの食堂みたいなところでランチを食べた。ランチへはミョンチョルの車で行ったためほぼ全員がスピード違反の被害者となった。ミョンチョル、安全運転大事やで。その後は最近完成したガーデンエキスポという世界中の庭を1つのテーマパークの中に再現してあるというすばらしいところに行き、グループで回った。これは個人的な話だが露店みたいな感じでアイスを販売していた何人かわからないおっちゃんはパフォーマンスせいしんか精神が旺盛でアイスもおいしかった。ぜひおすすめしたい。その後は写真スポットがたくさんあったので撮影会が始まり、風車の前では突然グループダンスの演技が始まったがクオリティはミョンチョルのダンスの方が高かったため感動はしなかった。時間がおしていたのでその後は早急に宿に帰り、みんなでチキンをほおばった。このチキンはとてもおいしかったため大人気だったが男子よりも女子の方ががっついていて、どうやら肉食系女子が多かったようである。その後はアルコールゲームが始まり、そこそこの時間になり、みんな各々のタイミングで就寝した。こうして2日目が終わった。

8月21日

神戸支部 関西学院大学 1年
廣田あき帆

この日は、起床して、ランチを食べてバスでGoheungにある、Bal-po Beachというところへ向かいました。私は海に行くのが特に楽しみだったので、バスの中ではわくわくして、メンバーと音楽を聴きながら過ごしました。そして、海に到着。あまり人がいなくて、ほぼ貸し切り状態なことに驚きました。着替えて砂浜に入ると、他のメンバーが韓国人の男子メンバーに追っかけられて、海に投げられていました。私は、特に海に入るつもりはなかったので、海の右側の、子供たちがいるところへ避難してました。今は、投げられとけばよかったなーって少し後悔してます(笑)一部のメンバーで砂浜に浮き彫り文字みたいなものを作ったりもしました。

昼食は、テーブルに分かれて、鶏をじっくり煮込んだものや、キムチや、雑炊みたいなもの等を食べました。鶏の中にはとろとろになったんにくが入っていて、すごく美味しかったです。少し鶏がグロテスクでした。昼食中見えた、一人のマダムが砂に埋もれて

いくさまは、個人的にすごく面白かったです。

食べ終わった後は、なぜか日本人メンバーだけで海に浸かって、走ったり、ゲームをしたりしました。ゲームで負けた人は海に投げられる、っていう変なのがすごく楽しかったです。前半、砂で遊んでいただけの私は体力があり余っていたので、他のメンバーが引きあげた後も、一部とそのまま海に浸かってました。海の下が、すごくぬるぬるして気持ち悪かったのが印象的でしたが、泳ぐのが楽しかったです。上がった後は飛んだり跳ねたりして写真を撮りまくって、これまたとても楽しかったです。そして、着替えてバスに乗って、ペンションに帰りました。

夕食は男子メンバーがカレーとジャージャー麺味のカレー？を作ってくれました。海へ行って疲れてるはずなのに、取り分けやおかわりまで気遣ってくれて、申し訳なかったです。改めて韓国人メンバーは皆親切だなと感じました。この日は、飲み会（あったか定かではない）には出ずに、お風呂に入ったらすぐに寝落ちました。充実した、とても思い出深い一日でした。

8月21日

大阪支部 関西大学 3年
長田博子

3日目は Bal-po Beach に行きました。みな水着に着替えて海に入りました。韓国では女の子のビキニ姿はあまりいいように思われないうで韓国人の女の子3人全員が T シャツを上に着ていた。またビキニを着るといって驚かれた。そこは韓国が儒教のくになのだなという感じたところである。昼は参鶏湯を食べた。見た目はあまりいいとは言えないと思うけれど、とてもおいしかった。これは韓国の定番料理だということだが韓国に来る前は韓国の料理はすべて辛いものかと思っていたので驚いた。またキムチはどの料理でも必ずついていたので本当に韓国料理に欠かせないものなのだと感じた。またキムチもあまり辛くなかったので驚いた。また、海で韓国人の男性陣が女子を担ぎあげ海に落とすという定番らしい行事が行われた。午後になると韓国人たちは海へあまり来なくなり、日本人だけが海で遊ぶようになってしまったのが残念だった。また、日本人だけで担ぎあげ、海へ落とすことが難しいことがわかった。海は泥が混ざりきれいとは言い難いところだったけれど、波が穏やかで、久しぶりに海にこれたのでとても楽しかった。

8月22日

京都支部 京都女子大学 2年

新宮真梨

四日目はまず朝ごはんが衝撃的で、二種類のブルコギ、コロッケ、トンカツ、キムチと
いうかなりがっつりな内容でした。さすがに全部は食べきれませんでした。本当に美味
しかったです！次に、日本の文化紹介で屋外でヨーヨーつりを楽しんでもらいました。遊
び方を間違えて水風船のようにしてはしゃいでいる人もいましたが、最終日まで大事に保
管して家に持って帰ってくれた人もいて嬉しかったです。午後からはスンチョンマン川へ
観光に行く予定でしたが、屋外があまりにも暑かったため、昼間は一瞬グループミーティ
ングをしてそれからはしばらく涼しい部屋でダンス、お喋りなどをしてただらだらしていま
した。夕方からはグループごとにスンチョンシティへいきました。その時に韓国のファミ
レスに初めて入ったのですが、フランスパンの中にカルボナーラが入っている斬新な食べ
物を見つけてテンション上がりました！カルボナーラは日本のカルボナーラより甘かった
です。その次にカラオケへ行きました。その地域のカラオケは怪しい雰囲気のお店が多か
ったみたいで、普通のカラオケを見つけ出すのが大変だったみたいですが、何とか入れて
よかったです。韓国人の生歌は初めて聞いたのですが、ピブラート？がきいていて本当に
上手で聞き惚れそうでした。日本の曲は2007年度までの曲は入っていたので、さくらん
ぼやLOVE マシーン、サクラ咲けなどをみんなで歌いました。また、韓国で大流行してい
るクレヨンポップのダンスで盛り上がりました。カフェでは韓国人が全員分のかき氷を混
ぜてくれましたのですが、絶品でした！あのかき氷を日本でも食べたいです。最後にスー
パーマーケットへ行き、次の日の日本料理、韓国料理作りの材料集めをしました。個人的
にはこの日が一番楽しかったです!!

8月23日

神戸支部 関西学院大学 2年

廣瀬仁美

さあ4日目！

この日は Sun-cheon city へ行ってそれぞれのグループに分かれて行動。私たちグループ
は初めに腹ごしらえ！辛いもの以外を食べたい!!という日本人メンバーの希望でファミレ
スのような洋食のお店に。う〜ん!!おいしい〜！そして次に向かったのがカラオケ！日本の
カラオケは進んでるんだな〜と実感！みんなで歌って踊ってかなり盛り上がりすごく楽し

かったです！そのあとは韓国スイーツのヨーグルトピンスを食べに！日本でいうかきごおりにアイスやお餅、イチゴ、ブルーベリーなどフルーツがのっけていてそれをかき混ぜてみんなでシェア！おいしすぎる～の一言!!食べた瞬間わたしのお気に入りの韓国スイーツとなりました！

そしてそしてスイーツを満喫したあとは次の日の Culture Exchange で自国の料理を作るための食材探しへ！大きなスーパーでビッグサイズの食材がズラリ！！種類も豊富で見ているだけでも楽しめました!! でも見るだけじゃなく真剣に食材も選びましたよ！

グループでの行動で、より同じグループのメンバーとたくさん話せて仲良くなれたきがしました。とにかく楽しかったです！！その後ペンションに帰宅してお待ちかねの飲み会がスタート！この日もアルコールゲームでかなり楽しい夜となりました！

8月23日

九州支部 北九州市立大学 1年
谷井郁花

この日は韓国料理と日本料理を作りました。3グループに分かれ、各グループごとに韓国料理と日本料理を1品ずつ作り、最後に集まって試食会をしました。私たちのグループはトッポギとお好み焼きを作りました。トッポギは韓国の伝統料理であるしょうゆベースと屋台でよく見かける赤いソースの二種類作成しました。お好み焼きは最初はできるか不安でしたが韓国にある材料とメンバーの知恵でなんとか工夫して作りました。お好み焼き粉がなかったので小麦粉と水を調節しながら完成しました。他のグループはポッサム、キンパ、キムチポックンパプ、焼きそば、塩焼きそばを作っていました。いろんな料理が食べられ、作るどころも見れたのでうれしかったです。食後は韓国人の女の子たちが浴衣を着てとても喜んでいました。楽しい文化交流の時間が過ごせてよかったです。

8月23日

大阪支部 関西大学 1年
城 見幸

五日目はランチを食べた後、3つのグループに分かれて、それぞれ日本の料理と韓国の料理とを作りました。私達グループ2は、日本の料理としてお好み焼きを、韓国の料理としてトッポッキを作りました。お好み焼きは、韓国にお好み焼粉が売ってなかったので、代わりに小麦粉を使いました。小麦粉と卵と水で溶いたものに千切りしたキャベツを入れ

て混ぜ合わせ、フライパンで焼きました。フライパンでお好み焼きをひっくり返したりするのを韓国人と一緒にやったりしながら、無事完成させることができました。韓国側のトッポッキは2種類の味があり、一つは赤っぽくて豆板醤を効かせた少し辛いもの、もう一つは茶色っぽくて辛いものがありました。トッポッキは、トックと呼ばれるお餅を煮込んで作ります。トックの他にも、麺や「おでん」と呼ばれる平たいさつま揚げのようなものも入っていました。三つのグループがそれぞれ作り終えたところで一つの部屋に集まってそれぞれのグループが作った料理を紹介して食べました。他のグループは日本料理として焼きそばや手巻き寿司、韓国料理としてキムパや豚肉とキムチをレタスで巻いて食べるものがありました。全てみんなで美味しく頂きました。

料理を食べた後は日本の有名なお菓子や浴衣を紹介しました。日本のお菓子は東京バナナや京都の生八つ橋、岡山のきびだんごや博多通りもんを紹介しました。どのお菓子も「おいしい！」と言って食べてくれました。その後すぐに夜ご飯でした。夕飯はサムギョブサルパーティーでした。最後の夜にみんなで焼きながら食べるサムギョブサルは最高でした。

夕飯の後、イルミネーションを見に行く予定でしたが、雨が少し降ってきたので中止になりました。そして部屋に集まって、一人一人にメッセージを書きました。メッセージをもらったメッセージカードはたくさんの思い出が詰まった宝物です。

8月23日

神戸支部 関西学院大学 2年
中島歩美

この日は11時くらいにペンションのすぐ近くにあるお店に、蟹を食べに行った。2種類の蟹料理があり、どちらも初めて食べるものだった。ペンションに帰ってからは、グループに別れて、前日に買った食材で日本料理と韓国料理を作った。私たちのチームはサラダ巻とポッサム、他のチームはお好み焼き、トッポギ、キムパ、焼きそばを作っていた。グループごとに料理の紹介をし、みんなで食べた。どのチームの料理も、すごく美味しかった。その後、博多とおりもん、東京バナナ、八つ橋、きびだんごなどの日本の有名なお菓子を紹介した。どのお菓子も韓国人メンバーに人気だったが、都こんぶだけは匂いが苦手と言っていた。文化紹介では、浴衣を紹介し、韓国人メンバーにも着てもらった。すごく喜んで写真を撮っている姿を見れて嬉しかった。この日の夕食は、サムギョブサルパーティーをした。ジャンケンで負けた人が、唐辛子を食べたりしながら、最後の夕食を楽しんだ。夜はローリングペーパーをした。みんなからメッセージをもらえて、すごく良い思い出になった。A.S.C最後の飲み会は全員参加していて、すごく楽しかった。最後まで起きていたメンバーは、朝8時くらいまで飲んでた。この日もすごく充実していて、楽しい一日だ

った。

8月24日

九州支部 北九州市立大学 1年
津田 宜範

ASC 最終日、最後の最後までスケジュール通りには進まず、僕が目覚めたときには、みんながバタバタと荷物をまとめていました。ふと外を見ると、あいにくの雨模様。僕が1人で釜山に着いた勉強会の日、猛暑とはまるで正反対でした。始まりが晴れで、終わりが雨。その時の自分の気持ちを象徴してるみたいだなあ、と感じました。そして急かおされながら僕も荷物をまとめ、カンジュ行きのバスに乗り込みました。

正直バスの中では、先日の疲れから爆睡だったので記憶という記憶がありません(笑)。出発してから、約1時間後カンジュのバスターミナルに到着しました。僕を含め、釜山に向かう人たちはここでみんなとお別れになります。そこでは写真撮影の嵐でした(笑)。ナムヒョの「もうバスが出るよ!」という言葉に耳もくれず、別れを惜しんで時間ぎりぎりまで写真を撮っていました。韓国メンバーにつたない英語でお別れをして釜山行きのバスに乗り込みました。バスが出発すると、みんなが大きく手を振ってくれながら見送ってくれました。

バスが出発してから約2時間後、よくわからないところに着きました(笑)。そこで同じバスに乗っていたメンバーと解散をして、タクシーに乗り込み国際旅客ターミナルに向かいました。案外距離があったようで、結構な時間とお金を取られました。

帰りのフェリーに乗船し、半日かけて日本に帰国しました。フェリーの中では本当に孤独と寂しさを感じました。思い出がフラッシュバックして、本当の本当に終わったんだなあ、と。感傷に浸っているうちに寝てしまったようで、気づいたら日本に到着していました。

今回のA.S.C.で一生の思い出に残るとても密度の濃い時間を体験できました。日本のメンバー、韓国のメンバー、ともにこれからも連絡を取り続けまたどこかで会えることを楽しみにしています。

8月24日

神戸支部 関西学院大学 2年
浅野雅菜

6日目はお別れの日。明け方にみんなで日の出を見ました。そんな時間まで、ゲームをしたり、おしゃべりしたりしてみんなでラストナイトを楽しみました。今までお世話になったペンションにお別れして、バスに乗り込みました。みんなお疲れの様子で、スンチョンからカンジュまでのバスの中では寝てしまっている人もいました。でも最後にみんなとすごせる時間。みんな別れをおしんでしゃべったりしたりする人もいました。カンジュのバスターミナルでお別れ。みんないっぱい写真とったりしました。

最高の6日間にお別れ。2013年の夏の最高の思い出の1つになったはずです。もっともっと一緒にいたい、そんな気持ちにさせてくれたメンバーに感謝です。

8月24日

大阪支部 関西大学 2年
片山茜

午前中は観光の予定だったのですが、気温が高すぎるため室内でグループディスカッションをしました。私たちのグループはがっつりディスカッションをしたので疲れましたが、ディスカッションをしていく中で、日韓の文化の違いや習慣の違いを説明したり知ることができておもしろかったです。また最後には5日目にある文化紹介でつくる日本料理のメニューを考えたのですが、韓国に売っている材料で作れる日本料理を考えなくてはならず、難しいと感じましたが、韓国側の助けを借り、日本人みんなでアイデアを出し合って焼きそばをつくることにしました。

気候が涼しくなった夕方ごろ、グループで市内にいき町を散策、カラオケに行きました。韓国のカラオケのシステムは日本とすこし違って戸惑いましたが、日本語の曲もあって日本人も楽しめてよかったと思います。

夜ご飯の後は、みんなで大きなスーパーに5日目の材料を買いに行きました。すごく広いスーパーで、日本にはないものがあったり、ないものがあったりで新鮮でした。ここでも韓国人メンバーに手伝ってもらって、無事材料を買うことができ、本当に感謝です。

四日目は、疲れたけれど、日韓の違いを肌で感じる事ができた貴重な一日になりました。

テーマエッセイ

「美意識」

岡山支部 ノートルダム清心女子大学 3年
大本真弓

韓国に行って、驚いたことがあります。それは、至る所に鏡があったことです。高速のサービスエリアのトイレの中にまであった時は本当に驚きました。

何故こんなに鏡があるのか、と考えた時、韓国人は美意識が高いからではないか、という推測が浮かびました。

A.S.C.中に、韓国人メンバーの子に自撮り写真の撮り方を教えてもらいました。カメラは斜め45度の高さ、向きは真っ正面ではなく少し斜め、あごは引いて上目遣いetc. 日本でもよく言われる撮り方ですね。実際にやってみましたが、なかなかうまくいきませんでした。韓国の方は、一番自分が綺麗に撮れる角度を知っているのだそうです。実際に、自撮りをしている人も何人も見ました。日本人からしたら自意識過剰に見えるかもしれませんが、これが日本人と韓国人の美意識の違いなのかもしれません。実際街を歩いていると、韓国の方は綺麗な方が多いです。A.S.C.では男の子でも肌の手入れをしているのを見ました。常に自分の姿を意識することで、どんどん綺麗になってゆくのですね。

このような点は、日本人が見習うべき点ではないかと感じました。日本人のひかえめなところも好きですが、美意識を高く持ち、自分に自信を持つことも大切ですね。

美意識が高いとよく言われる韓国人を実際に見て、実感し、勉強になりました。私も見習っていきたいと思います。

「韓国の兵役制度」

神戸支部 関西学院大学 2年
鈴木貴大

今回のプログラムで徴兵についてお話を聞く機会があったので、そこで聞いた話をまとめたいと思います。韓国では2年間兵役に行くことが義務付けられていて、兵役の前には試験があり、その試験の結果で兵役中の大まかな階級が決まってしまうそうです。

その試験内容については面接や体力試験があり、18歳から入隊することができます。

私たちが韓国に滞在している間も地下鉄や街中でも軍隊の服装をした人を何度か見かけました。ちなみに兵役で働いてもらえる給料はごくわずか。兵役中は歳はまったく関係なく、大事なのは階級です。つまり、たとえ歳上でも階級が下であれば、上級階級の若い者のいう事を聞かなくてはならない。それが嫌で一番若い18歳に入隊する人が多いそうです。また徴兵が結婚を遅らせる一因になっているという話も聞きました。なぜなら、兵役で二年遅れる分、就職も遅れ、家計を支えるのに十分な収入を得るのは30過ぎたころ。韓国では就職につけるのは27歳が早くて遅い人だと30過ぎ。兵役中はストイックな現場で気をおかしくする人もいるそうです。また、大学在学中に徴兵に行くと、その期間は基本的に勉学はできないので、プランクが開いてしまい、また勉強をし直さなきゃいけないという事もあると聞きました。

フリーエッセイ

岡山支部 岡山大学1年
村井太一

今回の A.S.C.に参加するにあたって、提出したアプリケーションシートに私は『韓国という国を知りたい。』と書いた。日韓関係というのは決して良いとは言えない状態が続いている。テレビ、新聞、インターネットなどの様々なメディアは頻繁に韓国人の反日行為を取り上げており、日本人の嫌韓意識も段々強まり、「韓流ブームは捏造だ!!」「韓国人は日本人観光客に嫌がらせする。」とまで言い出す始末。様々な意見が飛び交う中、僕は A.S.C.に参加して真実を実際に見てみようと考えた。そして、このピフォア含め 11 日間の滞在で感じたことは「韓国人は情に厚い。」ということだ。正直に言うと、僕は韓国人が不愛想で日本人に対して特にそうであると、勝手に予想していた。が、全く違った。A.S.C.に参加した韓国人メンバーには感謝しきれないと思うくらいだ。前日、どれだけ夜遅くまで騒いでいて睡眠不足でも次の日の朝早くから、みんなの朝ごはんの準備をしてくれたり、恥ずかしがりな日本人に自身も得意でないであろう英語で積極的に話しかけてくれたり、写真を撮るとみんな勢いよく集まってくれたり、韓国の文化を一生懸命伝えようとしてくれたりと挙げればきりが無い。A.S.C.メンバーだけでなく、町の人にも重たい荷物を持っている人がいれば持ってくれたり、電車の切符の買い方がわからないと向こうから教えてくれたり、日本語で雑談してくれたり僕が日本で見た韓国の反日デモなどは本当のことなのだろう

かと疑うくらいだ。実際に、仲良くなった韓国人に「韓国人が全員、日本人嫌いかと思っ
ていたよ。」と伝えると。「確かに一部、日本が嫌いな人もいるけど殆どの方があまり気に
してない。」と答えてくれた。メディアはその一部だけを取り上げただけなのに僕が勝手に、
それが全部だと錯覚していたのだ。その誤解が解けただけでも僕にとって大きな意義をも
つプログラムであった。約一週間、寝食を共にして、その仲は“他人”から“大親友”に
まで発展し最終日の別れは想像以上につらいものであった。日本と韓国の関係はこれから
どうなっていくかは、わからない。でも、僕は『韓国が好きだ。』と今なら断言できる。

北九州支部 北九州市立大学 1年
谷井郁花

私は高校生のころから韓国に行くのが夢でした。ですから大学に入学し I.S.A.に A.S.C.
というプログラムがあると先輩に教えていただいて、すぐに入部を決めました。しかし学
部の関係であまりサークルに参加できておらず情報が少ないまま A.S.C.に参加したので、
九州支部がすくないことや一人で飛行機に乗ることなど、不安なことがたくさんありまし
たが、参加者の皆さんが温かく迎えてくださりとてもよくしてくださったのですぐに不安
な気持ちもなくなりましたし本当にうれしかったです。

プログラムでは英語力のなさをこれでもかというくらい痛感させられると同時に、伝え
たいという気持ちがあれば身振り手振りや英語、韓国語の知っている単語を駆使してなん
とか伝えることができるのだと知りました。また趣味で勉強している韓国語をもっと勉強
し、いつか辞書がなしでみんなと韓国語で会話ができるようになりたいという意欲がわき、
よい刺激になりました。だから英語も韓国語も本当にできないけど私が A.S.C.で一番楽し
かったのはおしゃべりです。国も言葉も違うのに（違うからこそ？）話が尽きませんでした。
そして国は違えど盛り上がるネタは一緒だなと思いました。

学びの収穫も多く本当に楽しかった A.S.C.。このプログラムに参加したことや出合いを
大切にしこれからの学びに生かしていきたいと思います。

九州支部 北九州市立大学 1年
津田 宜範

I.S.A.に入部して、初めてのプログラム参加だった A.S.C.。ただただ楽しかった。こんな
に楽しい体験ができるなんて最初は全く思わなかった。前年度に参加した先輩の話を聞いて

て参加を決意したが、今年九州支部から参加したのは自分を含めて2人。前年度に比べると極めて少ない。だからあまり上手くとけこめなさそうで楽しめないかも、という不安が大きかった。しかしそれは大きな間違いだった。日本人メンバーはとても暖かい人ばかりだった。すぐに輪に入ることができた。逆に九州支部からの参加が少ないことで、内輪で固まることなく、他支部の人と仲良くなれたのだと思う。もちろん韓国メンバーもとてもいい人ばかりだった。初めてミョンチョルを見たときは、とんでもなくチャライやつが来た…、と少し焦ったが、やっぱり人間は外見で判断してはいけない。本当に優しくて頼りになる人だった。日本に帰った今でも連絡を取り続けているくらい仲良くなれた。それはともかく、韓国メンバー内で九州支部は人気だった。僕が支部を伝えると、「Oh！ Kyushu！ Yeah！」と言って肩をバシバシ叩かれた。前年度の先輩たちの印象がよっぽど強烈だったようだ。そんな過度な期待にこの A.S.C.で応えられたかはよく分からないが、楽しめたからよしとしよう。しかしやはり痛感したのは自分の英語力な無さだ。一生懸命コンタクトをとってくれているのに、一言でしか返せない。もしもっと英語ができたなら、より深いコミュニケーションを築けたのかもしれないと思うと、少し後悔が残る。しかしそんな後悔がさほど気にならないほどこの A.S.C.は楽しかった。本当の本当に楽しかった。機会があればもう一度韓国に行き、A.S.C.メンバーと今度は自由に遊んでみたい。

神戸支部 神戸女学院大学 3年
新田裕美

韓国で撮った写真を1枚1枚見ていると、韓国での楽しかった思い出が鮮明に蘇ってきます。A.S.C.が終わって3週間が経ちますが、写真を手にすると、韓国へ発った日のことがまるで昨日のように感じられます。

今回、日本人メンバーで4回生が私だけということで、正直、後輩たちの輪の中に入ることができるのかとても不安でした。しかし、そんな不安も1日目の晩には消え去っていました。それは、私を温かく仲間に入れてくれたメンバーのおかげなのです。私の部屋では「キバ戦」という同盟が結成されるほどみんな仲良くなりました。(笑)

光州 A.S.C.ですが、プログラムはスンチョンという、光州からバスで1時間程の自然豊かなところで行われました。1週間寝泊りしたペンションはまだ新しくとても快適でした。心配だった天気にも恵まれ、雨の日はほとんどありませんでした。プログラム中は、みんな海で泳いだり、博覧会に行ったり、スンチョンの街を散策したり、日韓の料理を作ったりしました。そして A.S.C.といえば「お酒!!!」ですが、毎日明け方までどんちゃん騒ぎでした。おかげで、メンバーとも打ち解けることができました。本当に毎日が楽しすぎてあっという間の1週間でした。今回が最後の A.S.C.だと思うととてもさみしいです。

この出会いを大切に、これからも日韓メンバーとは SNS などを通じて交流を続けていきたいと思います。そして再会する日を楽しみに、韓国語も頑張って勉強していこうと思います。本当に最高の 1 週間でした。A.S.C.メンバーのみなさん、本当にありがとうございました。また会いましょう！

神戸支部 関西学院大学 1 年
廣田あき帆

私にとって、今回が初めてのプログラム参加になりました。一言で言うと、きらきらした毎日だった、になると思います。毎晩の飲み会や、サムギョブサルパーティーや、観光をしたり肝試しをしたり、海やカラオケに行ったり、料理を作ったり…大人数でこんなに長く一緒に過ごして、海外に滞在することは今まで経験したことがなかったので、毎日ディズニーランドにいるように感じていました。

そんな中で、残念だったのが、私の英語力でした。韓国人メンバーは、英語は得意じゃない得意じゃないと言っておきながら、とても上手でした。メンバーはとても親切で、私が言葉に詰まった時は噛み砕いて説明してくれたり、私はいつも助けられてばかりでした。書き英語や文法に囚われてしまい、もどかしい思いを何度もしました。そんな中で、韓国人メンバーは私の下手な英語でも、待っていてくれ、話しかけるととても嬉しそうにしてくれたので、なんとか会話を続ける努力をするように心がけました。とりあえず単語を並べるだけでも、伝えたいという気持ちが大事だと感じました。結果的には、プログラムの後半になると、自然に会話を楽しめるようになっていました。この経験から、日本に帰ったら英語が話せるようになる勉強をしたいと思うようになり、良い刺激をもらいました。

韓国人メンバーは他のところでもとても親切で、足場の悪いところで手を貸してくれたり、荷物を運んでくれたり、気遣ってくれました。それも自然に身につけているというような様子で、スマートで、ただただ驚きました。

今までつらつらと長く感想を書いてきましたが、その中でも A.S.C.で一番感じたことは、自ら動くことの大切さです。A.S.C.に参加するにあたり、参加者の中に知り合いはいませんでした。しかし、楽しもうと思い行動に移せば、皆が応えてくれる雰囲気 A.S.C.にはあります。さらに、領土問題が報道され、日韓関係が複雑になっている今の状況で韓国へ行くことに、不安に思うこともありました。しかし、韓国人メンバーは驚くほど優しく接してくれ、参加するにあたって、国同士の関係悪化からの先入観を持ち込んでしまった自分を恥ずかしく思っています。小さいながらも立派な国際交流を経験できたと思います。皆と仲良くなることができて、毎日本当に幸せでした。まずは、メンバーに、そして機会を与えてくれた ISA に、心から感謝しています。ありがとうございました。

神戸支部 関西学院大学 2年

浅野雅菜

私は、韓国に行くのは2回目でした。前回、KJに参加したときよりも韓国を好きになっていたのので、韓国のよさをもっともっと知れたような気がしました。

今回のA.S.C.で一番印象に残ったのは、海に行って、大はしゃぎしたことです。海の中で、飲み会ゲームをして、負けたら、海に投げられる、みたいなことをしたことが一番面白かったです。他にも、ビーチフラッグの真似事をしたりと、青春したなって感じでした。メンバーを砂で埋めたり、ひたすら砂ほりまくって、足湯みたいにしたり。ほんとに楽しかったです。韓国人メンバーはすぐに疲れて、ベンチで休んだり、お昼寝してる横で、日本人メンバーは海辺できゃっきゃしてたり。

今回のA.S.C.では、前回KJで出会った韓国人メンバーと再会できました。何回も行くともそれだけ、友達もいっぱいできるし、ほんとうにどんどん楽しさが増してくるなと思います。また、A.S.C.のコミをしてくれていた人たち、また韓国人メンバーにはほんとうにすてきなおもてなしをしてもらって、感謝の気持ちでいっぱいです。また、韓国と日本がつながることができるプログラムに参加したいと思います。

大阪支部 関西大学 1年

森田美穂

私がA.S.C.に参加しようと思ったのは単に韓国に行ってみたいという気持ちだけでした。韓国に行くまではちゃんと英語で話ができるのか、韓国人たちと仲良くできるのかなどとても不安でしたが、そんな不安はいつの間にかなくなっていました。最初に韓国に着いて思ったことは、韓国人は親切だということです。勉強会のためのホテルに行く道が分からなかったとき、韓国語が全く話せない私たちにホテルに電話をしてくれて道を教えてくれ、私たちがホテルに着いた後にホテルまで来てくれました。また、アフターの日にキャリーバッグを持ちながら階段を上っているとき、通りすがりの韓国人の方が軽々と運んでくれたのには驚きました。韓国側の参加者もちろん、ご飯を何も言わずに取り分けたりしてくれたりしてあらゆる細かいところに親切さを感じられました。

光州で初めて韓国人の参加者に会ったとき、女の子が3人しかいなくてどうしようと少し思いました。しかしその後ペンションに向かうバスで私が目覚めた時にはみんなが英語で楽しそうに話しているのを見て、英語で会話することや仲良くなれるかどうかの不安もなくなり、バスの中で寝るんじゃないかと後悔しました。韓国の方は積極的に英語を

話してくれるのに対して私は最初英語に自信が持てず単語を言うことしかできませんでした。毎日たくさん話すことでうまく伝えたいことを英語で言えないこともあったけど段々コミュニケーションが取れるようになったことは嬉しかったです。

A.S.C.に参加することで普通の韓国旅行では体験できないような互いの国の料理作りなどができることもこのプログラムの魅力だと思いました。韓国人は日本語を思っていたより多く知っていたので、英語だけでなく韓国語ももう少し知りたいと思いました。毎日夜遅くまでたくさん遊び日本に帰る日が近づいてくるにつれて帰りたくないという気持ちでいっぱいでした。A.S.C.に参加し、7日本人だけでなく韓国の参加者とこんなにも仲良くなれて本当に良かったです。たくさんの素晴らしい思い出をありがとうございました。

大阪支部 関西大学 1年
横山慧

A.S.C.に参加して、外国の人と交流する楽しさを初めて感じました。今回の A.S.C.は、私にとって初めての海外でした。出発する前は海外へ行くことに不安を感じていましたが、最終日には韓国から帰ることがとても嫌なほど、韓国が、A.S.C.に参加したメンバーが大好きになっていました。顔も名前もほとんど知らない人達が集まって、さらに、自分の住んでいる国ではない異郷の地で五泊六日の共同生活を送ったのに、もう言葉では言い表せない程楽しい日々が送れました。どうしてこんなに楽しかったのか…楽しすぎた日々を、印象深かったことをメインに書き記したいと思います。

0日目、釜山のドンシンホテルにて勉強会。真弓さん、ゆみさん、むらさんなどの先輩方が、私達後輩をまとめて下さいました。韓国に着いて初の韓国料理、エビとタコの海鮮鍋を食べました。辛すぎてびびりましたが、辛さが胃を刺激して、手が止まりませんでした。キムチと韓国海苔のセルフサービスがおいしすぎて神。夜の自由行動でみづきと若干迷子になる。1日目、朝にホテルの休憩室で食パンとコーヒー。A.S.C.がこれほど楽しくなるとは誰一人として気づいていませんでした。ミョンチョルオッパとのびたオッパが私達のキャリーケースを片手に1つずつ持って(しかも転がさずに中浮かせて!)くれました。韓国人男性の筋肉レベルに驚愕。サムギョプサルでみんなと仲良くなり始める。

ここからは何日目に何をしたか具体的には覚えていません。その理由は、毎日が充実しすぎて、(睡眠時間が短すぎて、)いつ1日が終わったのか全くわからないからです。韓国人と私のようなハングルを全く知らない日本人がコミュニケーションをとるには英語を使うしか手段がありません。日本人と韓国人の英語は発音が少し異なっていますが、なん

とか上手く言い回しを変えるなどして意思疎通をしました。日本人は英語がうまくありませんが、それと同様に韓国人も英語が上手いわけではありません。だから、お互いに試行錯誤をして気持ちを伝えあうのはなかなかおもしろかったです。今でも line を使って英語で line をしています♪英語を話せるようになりたいと思いました。

A.S.C.は今までの私の人生において、とてつもなく貴重な経験となりました。機会があればまた参加したいと思います！A.S.C.をサポートしてくれたスタッフやナムヒョオッパ、団長の真弓さんや、頼りになる先輩ゆみさん、いっつも一緒にいてくれた仲間達に感謝して、わたしのエッセイを終わらせていただこうと思います。素敵な日々をありがとうございました。一生忘れません。

岡山支部 ノートルダム清心女子大学 3年
大本真弓

韓国という国は、日本に似た雰囲気でありながら、異なる点がたくさんある不思議な国です。韓国の街に出れば、街行く人は私たちと同じような顔をして、一見日本にいるように思えますが、すれ違う人々は異なる言語を話し、ハングルで書かれた看板で溢れており、所々に屋台が見えます

お店に入ると、携帯電話をいじりながら接客している店員さんがいたり、無表情な店員さんがいたり…通話をしながら接客されたこともありました。日本では絶対にありえない接客態度に最初は驚きました。しかし、以前留学生の人に「日本の店員さんはみんな笑顔で驚いた」と言われたことを思い出して、これが韓国の普通なのだと知りました。日本の接客の素晴らしさを再認識した瞬間でした。

しかし、屋台で串にお肉が刺さったものを買って食べた時、食べにくそうにしていると、屋台のおばちゃんが食べにくいでしょうと言って串を半分に切ってくれました。食べ物を買った時はそっけなくて冷たいように見えたおばちゃんでしたが、優しくしてくださって、嬉しかったです。あれが韓国の人間性なののでしょうか。初対面の人に対して自分を見繕うことはしないけれど、実は優しく暖かいというツンデレタイプ。おばちゃんの暖かさに触れることができ、よかったです。

韓国は、食べ物は辛いものが多いですがすべて美味しく、おしゃれなカフェも多いです。私たちを惹きつける魅力がたくさんあるところです。今回、韓国に訪れたのは三度目でしたが、来れば来るほど好きになります。次に来れるのはいつだろうと帰国前に考えるほどです。

次に韓国へ行く時には、A.S.C.メンバーに会いたいです。そんな期待を持ちながら、この文章をしめたいと思います。

大阪支部 関西大学 3年

長田博子

この A.S.C.を通して韓国人との交流はもちろん韓国人の考え方も知ることができた。ひとつは年配のかたへの配慮だ。一度、韓国で電車に乗る機会があったが、その時周りを見ると比較的若い人は立っており、年配の方が座っていた。だんだん席が埋まってくるといたたまれなくなり席を立ったが、これは韓国の美点だな。と感じた。日本でもお年寄りの方のために優先座席が設けられていたり、席を譲ろうとすることがいいという風に教えられたりするが、韓国ではそれがもう当然のように行われているのだ。また ASC 中の3日目、sun-chan bo に行くかどうかでもめた時に上級生の意見と下級生の意見が対立した際、下級生の意見はなかなか通らなかった。この予定変更についてのちに韓国人と話すことがあった。やはりこれは韓国の年上を敬い、従うということが学生にも浸透していることを示していた。そのことについて私は韓国の経済とつなげて考えようと思う。韓国の経済は日本よりも決断力があり、スピーディである。また韓国はいくつかの財閥があり、トップが世代交代していただけなので、ほぼ権力者が決まっている。その状態で年上、権力者に随うように教育されている韓国人は権力者が決めたことに随うのみである。だから、韓国の経済はスピーディであるのではないかと思う。また、A.S.C.中に泊まったホテルなどでは日本のメーカーのものは一つもなく、韓国の財閥のものがあふれている。また、街中でも財閥の名が書かれた建物を見かけた。やはり、韓国経済にとって財閥の影響は強いものなのだたと認識させられた。

大阪支部 関西大学 1年

城見幸

私は A.S.C.というプログラムが、こんなにも心に残るものになるとは思ってもいませんでした。正直最初は、韓国にさほど興味がある訳でもなかったし、韓国に対してもあまり良いイメージはもっていませんでした。しかし今年 ISA に入ったばかりで、初めてのプログラム参加だったので、一番身近な国で、金銭的な面も考えて韓国を選びました。もちろんそれだけでなく、先輩の話を聞いたりして、A.S.C.の楽しさが伝わってきたことも大きな決め手となりました。実際韓国に行ってみると、私のイメージとは大きく異なり、とても親切な人ばかりで、本当に安心しました。韓国に着いた初日は釜山で勉強会だったので、釜山を少し観光しました。韓国で味わう初の韓国料理は本当に美味しく、来て正解だったなあと心から思える、良いスタートでした。

そしていよいよ韓国の学生と対面する日が来ました。韓国の男性は私達の思い荷物を運

んでくれるなど、女性に対してとても親切で、日本との文化の違いをいきなり感じさせられました。私は人見知りをするタイプなので、韓国の人達と仲良くなれるか心配でしたが、初日のバス移動の中で、向こうの学生が話しかけて来てくれたりして、徐々に打ち解けることができました。そうした心配も無用かなあと感じさせてくれました。しかし、プログラム初日はまだ少し緊張していたのか、なかなか自分から積極的に話かけることができませんでした。二日目からはグループ行動や、夜の飲み会などを通じて、話す機会も増え、お互いの間にあった壁が薄れていくのを感じました。しかし、話す機会が増えるにつれ、自分の英語力の低さに悩まされることも何度もありました。もっと伝えたいことがあるのに、上手く話せずに、会話が途切れてしまったりすることもありました。けれど、そういう時は何を伝えようとしているのかを一生懸命汲み取ろうとしてくれたりして、完璧な英語でなくて良いから、何かを伝えようとする姿勢が大切なのだと思いました。

私は、日本人以外の人と共に生活し、たくさん会話して笑い合ったり、ふざけあったりしたのはこのプログラムが初めてでした。そうした生活の中で見えてきたのは、生まれ育った国が違って、お互いが寄り添って近づけば、通じ合うことは決して不可能ではないし、たった一週間で、素晴らしい友達ができることも証明できました。文化や言語は違うけれど、世界と繋がりを持つのにそんなことは関係ないということを身にしみて感じました。また、違った文化や価値観は、私達がいかに普段囲われた小さな世界で暮らしているのかに気付かせてくれます。たった一週間でしたが、この一週間は今まで味わったことのないような、毎日が新しい発見で溢れていました。写真を見返す度に、鮮明に一日一日の思い出がよみがえります。このプログラムに参加して良かったと本当に心から思います。そしてこれからもっと様々な世界へ足を踏み入れたいと思いました。

京都支部 京都女子大学 2年
新宮真梨

今回の A.S.C.が自分にとって初めてのプログラムであったのと、京都支部からの参加がまさかの一人だけだったこと、k-pop をほとんど知らないということで、初めは A.S.C.参加に不安しかありませんでした。しかし、A.S.C.が始まる前日の勉強会の日連れて行ってもらった釜山の料理屋のお鍋がびっくりするほど美味しく感動し、夜は早速ビーチで遊び、それからお店に入って夜中までアルコールゲームをしたりと、韓国生活初日から自分が想像していたより何倍もハードで、充実していたので、まだ A.S.C.は始まってもないのにその日の時点で、あと韓国に 8 日間しか滞在できないことに悲しみを感じていたぐらいでした。とにかく不安が消えて本当によかったです。

今回特に印象に残ったことは、韓国人でも英語に苦手意識を持っていたり、韓国人特有の英語のなまりがあったりすることです。韓国人は小学校の時から英語を勉強していると聞

いていたので、韓国人はみんな英語がペラペラなんだろうなあと勝手に思い込んで結構びびっていたのですが、実際に会ってみると、英語に苦手意識を持っている人が意外と多かったのが驚きました。しかし苦手意識があるとはいえ、自分よりよく喋れるメンバーのほうが多くて、自分だったら絶対に諦めてしまうような難しい説明も全て英語で伝えようとしてくれていたので、その姿勢に感動したし、そのおかげでより仲を深めることができたのではないかと思います。

ASC とは関係ないですが、タクシーの運転手に限って、これはさすがにわかるやろというレベルの英語も全く通じなくて正直かなりいらいました(笑)通じないというか理解しようとしてくれる姿勢が見えなかったのが悲しかったです。どのタクシーにも見捨てられ、呆然と立っていたら親切な韓国人がどうしたの? と英語で話しかけてくれ、タクシーの運転手に韓国語で説明してくれました。何か困っていることがあったら街中の韓国人はいつも自分から大丈夫? と話しかけてくれた気がします。それは本当にありがたかったし、素敵だと思いました。日本人は恥ずかしがってあまり自分から話しかけたりしませんが、これは見習うべきだと思いました。

英語のなまりについては、馬鹿にしているのではないですが韓国人が“if”を「イブ～」と発音するのはとても可愛いと思いました。

今回の A.S.C.に参加できて心からよかったと思います。ここまで楽しくてわくわくするものだとは思っていませんでした。帰りのバスに乗る前は寂しくて涙がでました。日本に帰ってからもしばらく韓国が恋しくて、韓国ですっと流れていた音楽を聞いたり、みんながペンションやカラオケでダンスをしている動画を見たりして思い出に浸っていました。またいつか絶対韓国へ行きたいです。韓国大好きです!!

大阪支部 関西大学 2年
片山茜

今回の A.S.C.で私が見たことについて書きたいと思います。

この A.S.C.で私が心がけたことは、周りを見る、ということでした。前回の Ex.は初参加でただ楽しんだだけになった気がしたので、周りを見ることで色々な人のいいところを見つけようと思いました。実際に韓国へ行くと、自分が韓国 Ex.2 回目であり、韓国側にも日本側にも知り合いが多かったこと、オガチと同じグループであったこと、団長と同じ部屋であったことがあい、自分が思っていた以上に団長や韓国人スタッフに協力できた面があったと感じます。オガチや団長に提案したことが受け入れてもらえたり、ディスカッションの時に全体の雰囲気やメンバーの様子を見ることができ、自分でも成長したなと感じることができたし、先輩方にもそう言っていたいただいて本当に嬉しかったです。また同時に韓

国人スタッフや日本の団長、スタッフじゃないメンバーでも、仕事に対する責任や大変さなどが見えて、かっこいいと感じました。今までは思いませんでしたが、私もスタッフになってみたいと思うようになりました。

そして帰国後、日本人メンバーが韓国料理をつくっているのを FACEBOOKで見たり、韓国人メンバー後期の授業で日本に関する講義をとったというのを知って、今回の A.S.C. はとても良い日韓交流になったんだなと感動しました。

その他にも韓国人メンバーとたくさん喋ることができたり、会うのが二回目だった日本人メンバーとも仲良くでき、帰国後も繋がりが続けることができているので、この A.S.C. はとても有意義なものだったと思います。

大阪支部 関西大学 1年
金井みづき

今回初めて A.S.C.に参加しました。最初は、知らない人が多いし、韓国人とコミュニケーションとれるかなとか不安でいっぱいでしたが、めちゃくちゃ楽しい思い出になりました。1 日目は大学で自己紹介のあと、これから 1 週間過ごすスンチョンのペンションでサムギョブサルパーティー。サムギョブサルめっちゃおいしかったです。その後は部屋で飲み会。アルコールゲームの種類がたくさんあって覚えるのが大変でした。2 日めはグループでディスカッションしたあと、有名な公園へ。いろんなテーマごとに作られた公園で、グループのみんなでいろんなポーズをして写真をとったりして楽しかったです！3 日めは海！韓国では男の人が誰か 1 人を持ち上げて海に投げ飛ばすのをよくやるみたいで、私もやってもらいましたが結構おもしろかったです。そのあとは泳いだり、浜辺でジャンプしたりして遊びました。楽しかったです。4 日めはグループで光州の繁華街へ行って、ファミレスみたいところで晩御飯を食べたあとにカラオケ！ちょっと昭和感の漂うカラオケでしたが、めちゃくちゃ楽しかったです！カラオケの後はカフェでパピンスを食べて、スーパーで買い物。スーパーに売ってる物の全てが大きくてびっくりしました。5 日めはグループにわかれて日本料理と韓国料理を作りました！私たちは日本料理ということでサラダ巻を作りました。韓国料理の豚肉の料理もサラダ巻も美味しかったです！他のグループのも美味しかったです。最終日は写真をゆっくり撮る間もなく解散、という感じで寂しかったですが、この 1 週間、めちゃ濃い 1 週間で楽しいって言葉じゃ足りないくらい楽しかったです！また毎日飲み会があったので最終日にはアルコールゲームはマスターできました。笑 韓国人メンバーとも日本人メンバーとも仲良くなれて嬉しかったです。あと改めて自分の英語力の無さを痛感してもっと英語頑張ろうと思えまして、韓国にも今まで以上に興味がわいて韓国語も勉強したいなと思えました！またいつか A.S.C.メンバーみんなで集まりたいです！

大阪支部 関西大学1年

高尾 周代

“人数が多いしおてごろなかんじ” そんな軽い気持ちでA.S.C.に参加しました。ですが、想像以上に楽しく、このプログラムをとおして出会えた人たちや感じたことは一生忘れられません。まず、釜山の空港に着くと、韓国語の知識が全くなく、記号のような韓国語に焦り、電車やバスの掲示版などがよめず、勉強すればよかったと後悔しました。でも、このプログラムに参加している間、韓国語が話せる先輩がいたので、あまり不自由はしなかったように感じます。釜山のホテルで日本人メンバーに会うとき、私は用事があり団結式に行けず、韓国に行くまでほんの数人の人しか知らなかったので緊張しましたが、みんないい人たちでたくさん話すことができました。合流してからの初の韓国でのごはんもなかったのですが、とてもおいしかったです。韓国で食べたごはんは本当にどれもおいしく、たまに恋しくなります。

そして、韓国のメンバーと合流したあと、話をするとき言いたいことが伝わらないときがありました。言葉を考え、相手の顔を見ると相手も一生懸命何を言っているのか一緒に考え、こういうことをいっているのではないかと簡単な英語で話してくれて、とても嬉しくなりました。そして、その気持ちに答えようと一緒にジェスチャーやそのニュアンスにちかい単語を並べていくうちに言いたいことが伝わる時お互いなんともいえないような達成感をえました。

自分の中で一番考えが変わったことが、韓国に対するイメージです。ニュースでよく日韓関係の問題を目にします。そのせいなのか、韓国に行くまえは私自身韓国にあまりいいイメージを持っていませんでしたし、韓国の人たちも日本を少し懸念しているのかなどかと思っていました。でも、韓国のメンバーもすごく優しくしてくれるし、街中であう人たちも重いキャリアを運ぶのを手伝ってくれました。帰国すると今まで持っていた自分の考えやイメージがばかばかしくなりました。

神戸支部 関西学院大学 2年

中島歩美

私はA.S.C.に参加して、本当に良かったと思います。以前から韓国の文化に興味があり、韓国に行ってみたくて思っていたので、A.S.C.に参加することを、すごく楽しみにしていました。このプログラムは期待していたよりもずっと楽しく、すごく貴重な経験になったと思います。

初めて韓国人メンバーに会った時はすごく緊張しましたが、とても話しやすく、すぐに仲良くなることができました。参加する前に聞いていた通り、毎日飲み会がありました。お酒があまり強くないので、最初は少し心配していましたが、A.S.C.の飲み会は毎日本当に楽しかったです。このプログラムで感じたことは、韓国人メンバーはとても明るく、周りの人への気遣いが素晴らしいということです。みんなのおかげで、毎日が本当に楽しく、とても充実した6日間になりました。

ピフォアやアフターでも、本当にたくさんの人に助けられました。初めて地下鉄に乗った時に、切符の買い方がわからずに困っていると、声をかけてくれた方。改札を通れないのを見て、駅員さんを選んでくれた方。タクシーに乗れずに困っていると、運転手に頼んでくれた方。道を聞くと、ホテルまで荷物を運んで、案内してくれた消防士の方々。ここには書ききれないほど、素敵な人との出会いがたくさんありました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

A.S.C.での経験や出会いをこれからも大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

必要な持ち物リスト

- ・パスポート
- ・航空券
- ・ポケットマネー
- ・海外保険障害保険証
- ・携帯電話
- ・下着、日焼け止め
- ・水着（サンダル）
- ・歯ブラシ
- ・化粧水、乳液
- ・シャンプー、リンス、ボディソープ
- ・タオル
- ・常備薬
- ・ティッシュペーパー
- ・折りたたみ傘
- ・筆記用具、手帳
- ・アダプター（コンセント）、変圧器
- ・生理用品

（あったほうが便利なものリスト）

- ・ガイドブック
- ・ドライヤー、ヘアアイロン
- ・パジャマ
- ・ポリ袋

- ・ウェットティッシュ
- ・小さな裁縫道具
- ・カメラ
- ・虫除けスプレー
- ・洗濯物干し（ハンガー、洗濯バサミなど）
- ・洗濯用ロープ
- ・洗剤、柔軟剤
- ・洗濯用ネット

編集後記

報告書を作りながら A.S.C.での日々を思い出して、本当に充実した 6 日間であったと改めて感じました。特にメンバー紹介のページを作っている時が楽しかったです！なかなか面白くないですか？笑 この報告書を読んでもくれる人に今回の A.S.C.の素晴らしさが伝わったら良いな～と思います。（新宮）

報告書の作るにあたって A.S.C.の楽しかった思い出がたくさんよみがえりました。また報告書の件でメンバーと久々に連絡をとれたのもよかったなと思いました！この報告書をみた方々が来年の A.S.C に参加しようかなと思ってくださったらうれしいです！（谷井）

発行元

International Student Association(日本国際学生協会)

発刊日

2013 年 9 月 21 日

編集者

新宮真梨
谷井郁花